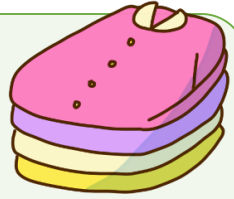




やっぱり 我が家がいい… 不安な気持ちに寄り添って…

Tさん 90歳は要介護1、一人暮らしをしていた。『ケアホーム希望』を利用し、洗濯物をたたんだり、茶碗を拭いたり、いつもお手伝いをしてくれる。そんなTさんが、自宅で転倒し、腰椎圧迫骨折をし手術となってしまった。長期間ベッド上で横になっている時間が長かったため、筋力が低下し歩行も困難となってしまった。そして介護度も要介護4となった。本人の意欲が低下し、思うようにリハビリも進まず退院後にこれまでのように一人暮らしができるかと家族は心配で、老健も検討したが、面会に行くと本人は「ケアホーム希望に帰りたい…」の一点張りなため、本人の気持ちを尊重し退院後は「泊まり」のサービスを利用しながら、自宅での生活を考えたりハビリメニューを作成した。しかし、なによりも問題なのは本人の意欲が低下し、依存心も強く、なかなかADLの拡大が図れなかった。そこで、本人が今後どうしたいのか、何が不安であるのかを明確にしなければならぬため報収集を行い、本人の気持ちに寄り添いながら、ケアを行っていった。更に、自宅復帰に向けて自宅の住環境も検討し、ベッドやポータブルトイレ、手すりの位置等自宅と同じ配置にして排泄訓練を行った。



はじめは不安でいっぱいだったTさんだったが、家族や『ケアホーム希望』の職員の励ましや協力で一人暮らしの生活を支援してくれる人達がいることがわかると安心して表情も穏やかになり、みるみるうちに歩行も安定し気持ちも前向きになっていった。

試験外泊を何度もくり返し、自信がつくと「やっぱり住み慣れた自宅での生活がいい」と思えるようになり、週に2日は自宅で「訪問看護」「訪問マッサージ」「訪問介護」に配食サービス等で見守りをし、週5日の「通い」と週1日の「泊まり」のサービスで在宅生活が維持できている。

本人の気持ちに寄り添い、有する能力に応じ自立した日常生活が送れるよう支援するのが、本来の介護保険の目的であるが病院へ入院し退院前になると「一人で生活ができないなら…、家族が介護できないなら…`施設入所、ですね」と、医師や相談員から簡単に言う事で高齢者を傷つけてはいないだろうか？

私の気持ち



私の 不安や苦痛・悲しみ…

- ・頑張りたいの頑張れない…
- ・わかっているのにできない…
- ・家に帰りたけれど一人だと不安…
- ・家にいて何かあったらどうしよう…

私の 介護への願いや要望…

- ・ケアホーム希望ですずっとお世話になりたい…
- ・施設には行きたくない…

私の ターミナルや死後について…

- ・誰も必ず死はくるが怖くて考えられない

私の 嬉しいことや楽しいこと…

- ・外出すること
- ・美味しい物を食べる
- ・褒めてくれる
- ・優しくされる
- ・自分のしたことで喜ばれたとき



私の 願い・要望…

- ・みんなと楽しくおしゃべりしたい
- ・一人暮らしを続けたい
- ・痛みがないようにしてほしい

平成30年 クリスマス会

Merry Christmas



美味しい
ものが食べれて
嬉しい

今年も一年 ありがとうございます!



こんなにいっぱいサンタに囲まれて プレゼントもらいました!



年末年始を安全に過ごすために...

今年も一年
元気で過ごすことができました!

来年もみなさんに幸ありますように!!

年末年始はどこの病院も休日体制となります。
具合が悪くなくても慌てず対応してください。

- ① 03-5315-5722 (ケアホーム希望)
- ② 090-6007-8955 (金沢携帯電話)



私達は年末年始も
がんばっています!